

筑大広報第 05-228 号
平成 18 年 2 月 14 日

筑波研究学園都市記者会 御中

筑波大学

元本学助教授の論文盗用について

本日、昨年末に本学を退職した元助教授の論文盗用について、一部の新聞等に報道がありました。調査結果及び今後の対応についてご説明いたします。

1 調査結果について

人文社会科学研究科の元助教授(46 歳、平成 17 年 12 月 31 日付け退職)が、平成 13 年から 16 年にかけて、本学地域研究研究科及び国際政治経済学専攻が発行する紀要に発表した英文論文のうち 5 本は、いずれも米国内で発行されている専門誌からの盗用であることが、人文社会科学研究科(研究科長:波多野澄雄教授)の調査により判明しました。

2 今後の対応について

上記の紀要は、主として学内に配布されるものとはいえ、教育研究に携わる者が論文盗用を行ったことは断じて許されるものではありません。関係者にお詫びするとともに、ただちに 5 本の論文を掲載誌から削除する手続きをとりました。

去る 2 月 8 日付けで「社会的信用を失墜する行為の防止について」を学長名で学内に通達したところですが、今後更に指導・徹底を図り、再発防止に努めたいと思いません。

なお、本日 13:00 から本件について説明会を開催いたします。

場所:本部棟 8F 経営協議会室

連絡先:筑波大学総務・企画部広報課

電話:029 - 853-2061

FAX:029 - 853-2014